

図書名：「えんとつ町のプペル」 著者：西野 亮廣

出版社：幻冬舎

住所：広島県三次市君田町東入君 10361 番地 2 Tel (0824) 53 - 2008

三次市君田中学校 第3学年 氏名：R.KHEA NICOLE.B

私は、12月から日本語の勉強を始めました。英語には自信がありますが、日本語はとても難しくて、「あいうえお」から始めて、今では漢字も少しできるようになりました。そんな私にこの本は学ぶ楽しさを教えてくれました。特に、日本語と英語で書かれていることや絵がとてもきれいに描かれているところがよかったです。

この物語の主人公は、「ごみ人間」のプペルと仲良しになったルビッチの話でした。ハロウィンの日にえんとつ町でプペルは誕生します。最初は、仮装していると思われ、友達ことができました。しかし、正体がわかると悪口を言われ、友達は去っていきます。その中で、一人ルビッチだけが残ります。その後、二人もけんかをして別れていきます。それでも二人の心はつながっていたことがわかります。ラストシーンでは、涙が止まりませんでした。本を読み終えた後、心があたたかくなりました。それは、人に対するやさしさを感じたからだと思います。日本に来て、始めて読んだ本がこの本で、この本に出会えて本当によかったです。そして、もっと日本語を学んでいこうと強い思いにさせてくれたこの本とこの本をつくった方に感謝をします。